

四日市市の学力向上について (提 言)

平成 27 年 10 月 21 日
四日市市学力向上のための懇談会

目 次

はじめに	P 1
経過	P 1
1. 目的 ～どのような力を育むか～	P 2
2. 手法 ～どのような学び方で育むか～	P 2
手法のための施策1 読解力、要約力、表現力をみがくための取組		
手法のための施策2 学ぶことと将来とのつながりを意識したキャリア教育		
3. 対象 ～どのような内容の教育を進めるべきか～	P 4
対象のための施策1 社会のグローバル化を見すえた英語教育		
対象のための施策2 四日市の特長を生かした教育		
四日市市学力向上のための懇談会 委員名簿	P 6
懇談会開催日程及び議事	P 7

はじめに

平成27年4月、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、首長と教育委員会との連携強化を図るため、首長、教育長及び教育委員で構成する「総合教育会議」が設置された。

本市の総合教育会議においては、「学力向上」をテーマに協議が行われ、子どもたちの更なる学力向上を目的とする「四日市市学力向上アクションプラン」を策定するために、有識者で構成される懇談会を設置することとなった。

本提言書は、懇談会において四日市市の教育施策について協議し、今後施策を進めるに当たって留意すべき点、改善すべき点についてまとめたものである。

本提言書が、今後の四日市市の教育をより実りあるものとする一助となるよう、願うものである。

経過

懇談会は、平成27年5月21日から平成27年10月1日まで、合計4回開催された。

第1回は、本市の学力の現状を踏まえ、社会人になっても通用する学力について議論を行った。

第2回は、本市の教職員研修の現状や、本市の特長を生かした学力向上の方策について議論を行った。

第3回及び第4回は、前2回の議論から導き出される具体的な教育施策「読解力、要約力、表現力をみがくための1分間コメント」、「学ぶことと将来とのつながりを意識したキャリア教育」、「社会のグローバル化を見すえた英語教育」、「四日市の特長を生かした授業」について議論を行った。

これらの議論を踏まえ、学力向上のための提言として、

目的：「どのような力を育むか」

手法：「どのような学び方で育むか」

対象：「どのような内容の教育を進めるべきか」

についてまとめたものである。

1. 目的 ～どのような力を育むか～

「社会人になっても通用する問題解決能力」

子どもたちが将来社会人となって夢や志を実現するためには、実社会において通用する、生きる力を身につけることが必要である。社会人になった時に必要とされる力は、主体的に問題を解決できる能力であって、学習によって得た知識と、その知識を活用するための力が必要となる。解決の道筋が明らかでない問題を解決する力は、何度も問題解決を経験することにより育成され、知識を問題解決のために活用することが可能となる。四日市市のめざす問題解決能力の養成にあつては、子どもたちに問題解決を経験させること、知識を実生活に活用させることを主眼に置いた取組が行われるよう提言する。

2. 手法 ～どのような学び方で育むか～

「子どもたちの主体性を重視した学び」

子どもたちが主体的に問題を解決できる能力を身につけるためには、自分の考えや意見をきちんと表現し、他者とつながることが必要となる。また、子どもたちは、職業体験や、自分と社会とのつながりを意識させる経験をつむことにより、将来の夢や志を抱く。そして、その実現のために、学ぶ意欲を持ち、自ら学ぶことに喜びを感じ、主体的に学び続けることができるようになる。

子どもたちが主体的に学ぶためには、表現力をみがくための取組や、「何のために学ぶのか、自分はどうなりたいか」という考えをしっかりと持つための、体験活動等のキャリア教育を充実させていくことが必要である。そして、体験活動等の実施に当たっては、四日市版コミュニティスクールを基盤とするなど、地域の教育力を活用することを提言する。

手法のための施策1 読解力、要約力、表現力をみがくための取組

四日市市では、小学校、中学校それぞれ3校を読書活動推進校に指定し、学習活動への読書の活用の推進研究を行っている。読書活動推進校は、その取組の一つとして、読んだ本の内容や感想などをまとめて発表する「読書後の1分間スピーチ」を行っている。

読書後の1分間スピーチは、おすすめの本を友達に紹介することで読書に対する興味関心を高めるといふねらいもあるが、読んだ内容について考え、要約し、話すという一連の行為を通じて、子どもたちの思考力を高める取組として位置付けられている。さらにこの取り組みを、自分の考えや思いを表現する、伝えるという点に着目し、子どもたちが将来社会人になった時に必要となる「自分で理解しているだけでなく、他人に伝える（理解させる）ことができる」能力を養うことを重視するものとして発展させることが必要である。また、子どもの発達段階に応じて話す時間を長くする、一方的に話す、聞くという取組から内容について議論する取組（1分間コメント）に発展させるなど、読解（理解）→要約（思考）→表現（話す）というプロセスを反復継続させる、より学習効果の高い充実した取組として実践されるよう、提言する。

手法のための施策2 学ぶことと将来とのつながりを意識したキャリア教育

四日市市では、自然、文化・芸術、地域の歴史、ものづくりなど、子どもたちの発達段階に応じて様々な体験活動を行っている。実用性、有用性という価値判断を持つようになる小学校高学年から、実社会でのものづくり体験や職場体験などの、将来の自分の姿や自分と社会とのつながりを考えるきっかけとなる体験をさせていく必要がある。

四日市市には、産業、文化、環境などキャリア教育に生かせる資源がたくさんある。四日市の長を生かした体験活動を通じ、子どもたちが学ぶことの必要性や地域社会と自分とのつながりを感じることができるような取組として実践されるよう、提言する。そのために、教師が四日市市や地域について詳しく知り、学習活動に活用することも必要となる。

また、生きる力を育むという観点からは、全ての教育活動がキャリア教育を構成するものであるから、日々の教科においても、その内容が社会や世の中とどうつながっているのかについて、子どもたちに伝えなければならない。キャリア教育として、日々の授業をしっかりと行うことについても提言する。

3. 対象 ～どのような内容の教育を進めるべきか～

「時代の変化に対応した教育」

時代の流れ、社会の変化に対応して、子どもたちが学ぶべき事柄も変容していく。現在の子どもたちが社会人になるころには、仕事の内容や、求められる知識も大きく変わっていることが予想される。今の時代に子どもたちに何を学ばせるかについて、十分な検討が必要である。

時代の変化に対応した教育を行うためには、教育におけるICT（情報通信技術）の活用など、教育環境の整備も積極的に進める必要があり、現在、将来を見据えた、効果的な教育への取組を行うべきである。

教師が自ら「今、世の中で何が起きているのか」について学び、授業に生かしていく取組が重要であることを踏まえ、教師の多忙化が問題となっている現状においては、教員の研修カリキュラムの見直しも検討するなど、四日市市全体で教育を支えていく取組として位置付けるよう提言する。

対象のための施策1 社会のグローバル化を見すえた英語教育

四日市市では、ALT (Assistant Language Teacher) など、英語教育に重点的に取り組み、一定の教育効果を上げているが、社会のグローバル化を見すえ、学力としての英語、コミュニケーションのツールとしての英語という2つの面から、英語教育の更なる充実を図る必要がある。

語学という、習得には長い時間と努力を必要とする教科については、子どもたちが英語に苦手意識を抱いてしまうことのないよう、楽しく、興味を持つことができる授業づくりを行うことが重要である。

また、多文化共生都市である四日市の特長を生かし、子どもたちが外国の文化に触れ、外国のことを知りたいと思い、外国の人々とコミュニケーションをとるために外国語を話せるようになりたいと思うようなねらいを持った取組が行われるよう、提言する。

対象のための施策2 四日市の特長を生かした教育

子どもたちに実社会に即した問題解決能力を身に付けさせるためには、われわれが暮らすまち四日市を題材に取りあげ、教育に「四日市らしさ」を打ち出すことが重要である。

四日市市では、小学3、4年生の社会科副読本として「のびゆく四日市」を毎年発行している。また、四日市公害と環境未来館、市立博物館、プラネタリウム、久留倍官衙遺跡などの地域資源を活用した教育や、夏休みの自由研究、社会科展・科学展等の取組から、子どもたちは四日市について学ぶことができる。

これらの取組を更に効果的なものとするためには、それぞれが連携し、互いの取組を補完、発展させることが必要である。また、産・官・学・民の四者が連携して教育に関わっていくことで、教育現場の負担を軽減し、オール四日市での教育を行う仕組みづくりを提言する。

将来的には、学校図書館等を活用し、四日市ならではの教育の情報発信を行う取組や、さらに、四日市という地域の枠を超え、四日市と他の地域とのつながりを学ぶ取組へと発展していくことを提言する。

四日市市学力向上のための懇談会 委員名簿

※ 座長・委員

加藤 和則（四日市市教育委員）

※ 委員

岩崎 祐子（四日市大学経済学部教授）

大矢知直登（経営コンサルタント）

寺本 佐利（コンビナート企業OB、元四日市大学就職アドバイザー）

宮本 華代（四日市市PTA連絡協議会）

井田 敏樹（四日市市立小中学校長会代表）

※ 学識経験者・委員

山森 光陽（国立教育政策研究所初等中等教育研究部総括研究官）

懇談会開催日程及び議事

第1回 四日市市学力向上のための懇談会

平成27年5月21日(木) 15時 四日市市役所9階教育委員会室

議事

- (1) 本市の学力の現状について
- (2) 社会人になっても通用する学力とは

第2回 四日市市学力向上のための懇談会

平成27年7月23日(木) 13時30分 四日市市役所9階教育委員会室

議事

- (1) 本市の教職員研修の現状について
- (2) 四日市市の特長を生かした学力向上の方策について
 - ① 「学ぶことと社会とのつながりを意識した四日市の教育」について
 - ② 「実生活への応用力を身に付ける四日市の学び方」について

第3回 四日市市学力向上のための懇談会

平成27年8月24日(月) 9時30分 四日市市役所9階教育委員会室

議事

- 四日市市の特長を生かした学力向上の方策について
 - ① 読解力、要約力、表現力をみがくための1分間コメント
 - ② 学ぶことと将来とのつながりを意識したキャリア教育

第4回 四日市市学力向上のための懇談会

平成27年10月1日(木) 13時30分 四日市市役所9階教育委員会室

議事

- 四日市市の特長を生かした学力向上の方策について
 - ③ 社会のグローバル化を見すえた英語教育
 - ④ 四日市の特長を生かした授業